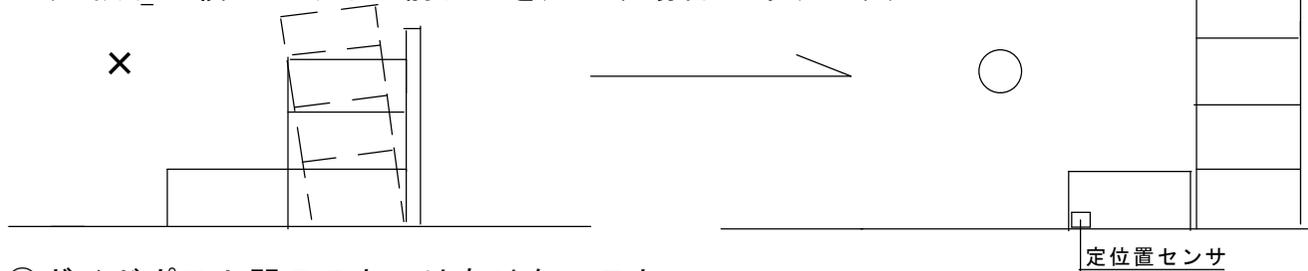


自動箱換機Ⅶ型α1 取り扱いと良い運転操作法。

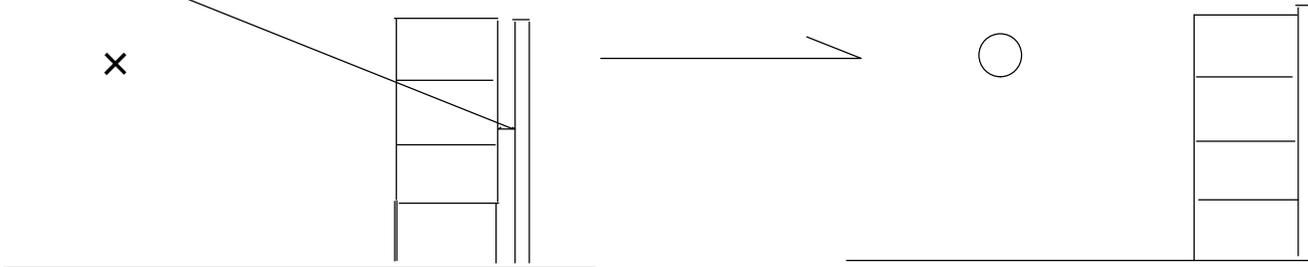
取扱注意点

①空箱段積数は原則として5～6段までとする(前倒れフレーム取付済みの場合は発生しません)
 (5段以上積み上げると前ダレを起こす場合があります)



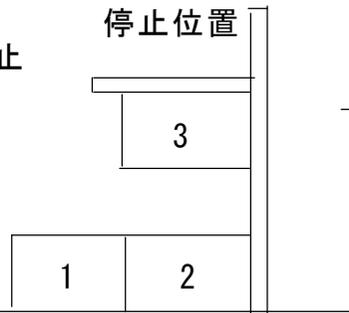
- ※1. 使用中トラブルで空箱間にエア圧力が発生した時は直ちにエア源を抜き、本機の電源スイッチを切り修正願います。
- ※2. 締め付け部は時々確認して下さい。
- ※3. 運転操作は取扱いに従って行って下さい。
- ※4. 名札の向きは押出す側にして下さい。
- ※5. 箱の変形は使用しない。
- ※6. サイドガイドに空箱がのる場合はガイドを調整して下さい。

②ガイドポスト間のスキマはあけないこと

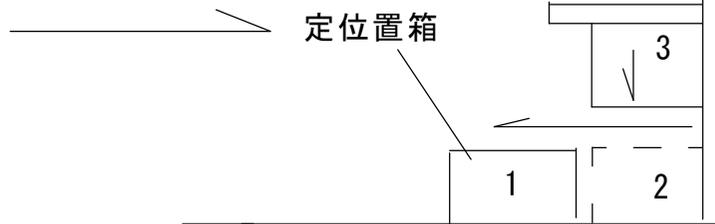


③異常停止の状態その1。

※発生する条件
 1. 終位置満杯停止



満杯箱を必ず手動で取り除きます。



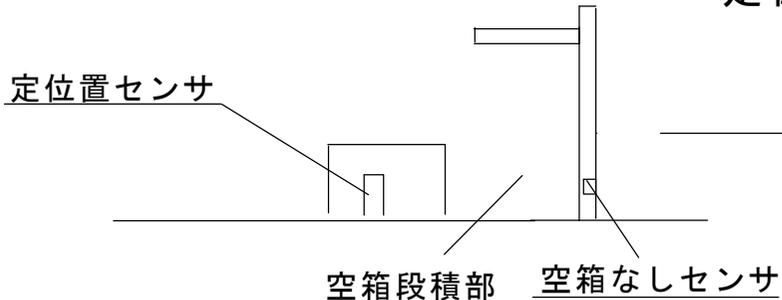
※左記停止状態図

<停止解除の仕方>

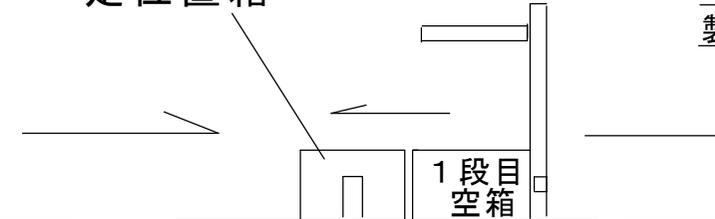
満杯箱を必ず取り除き
 異常復帰ボタンを押します。
 左図の順に、定位置箱を押し出します。
2が1へ3が2へ移動します。
 (リトライが開始されます。)

④異常停止の状態その2。

※発生する条件：空箱なし停止



定位置箱



① 運転再開
 製品投入中

② 投入中
 空箱を積み上げる。

1段目に空箱を入れ、異常復帰ボタンを押す。
 定位置箱を1段目空箱が押し出します。

承認	検討	設計 森岡	縮尺 1/10	名称 AUTO-CD1・Ⅶ型α1
メック株式会社		作図 05.12.15	図番 M-051215	